

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益法人用)

【対象決算年度:平成24年度】

1 団体の概要

団体名 (所在地)	公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会 長野市若里7丁目1番5号			代表者	理事長 関 隆教
設立根拠	整備法	設立年	平成元年10月	県所管部局 (課)	健康福祉部(医療推進課)
設立の沿革		設立目的(寄付行為・定款上)			
H1 (財)長野県腎バンク設立 H6 (財)長野県腎バンク・アイバンク協会 H10 (財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会 H22 公益財団法人長野県アイバンク・臓器移植推進協会に組織・名称変更	眼球提供者の登録及び角膜の斡旋を行い、併せて広く臓器移植に関する知識の啓蒙、普及を行う。 具体的な事業内容 ・眼球提供者の登録管理 ・角膜移植術に必要な角膜斡旋 ・角膜移植に係る感染症の検査 ・臓器移植に関する知識の啓蒙・啓発 事業執行状況を示す主な指標 平成22年度の実績 ・眼球提供者登録件数 1,301人 ・献眼者 19人 ・角膜移植者数 28人 平成23年度の実績 ・眼球提供者登録件数 1,230人 ・献眼者 19人 ・角膜移植者数 33人 平成24年度の実績 ・眼球提供者登録件数 853人 ・献眼者 15人 ・角膜移植者数 32人				
基本財産(円)	260,000,000	うち県の出 捐額(円)	40,000,000	県出捐率 (%)	15.4%
		主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%) ライオンズ 151,000,000(58.1%) 民間企業 41,594,000(16.0%)			

* 役員員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は平成24年度当初現在

役員数	年 度		H21	H22	H23	H24	
	役員数	常 勤	うち県職員	1	1	1	1
非 常 勤		うち県職員	21	16	16	16	
職員数	常 勤	うち県職員	2	1	1	1	
	非 常 勤		2	2	2	2	
常勤職員計			1	1	1	1	
非常勤職員計			23	18	18	18	
県職員計(非常勤役員除く)			0	0	0	0	
役員平均年齢	63	役員平均年収(千円)	3,113	職員平均年齢	—	職員の平均年収(千円)	—

* 次表は 24年度の状況で、()内は23年度

(単位:千円、%)

収益等 状況	経常収益(A)	14,660	(12,920)	県 費 受 入 状 況	補助金	3,670	3,655
	経常費用(B)	13,803	(13,958)		事業費	1,835	1,828
	経常損益(A)-(B)	857	-(1,038)		運営費	1,835	1,827
	当期損益	857	-(1,038)		交付金		
財務・ 資産 関係 指標	公益事業比率	69.7	(70.1)	負担金			
	経常比率	106.2	(92.6)	委託料			
	人件費比率	51.7	(51.1)	貸付金			
	管理費比率	32.3	(27.8)	出捐金			
	事業支出伸び率	0.0	(9.7)	損失補償年度 末残高			
	補助金等比率	25.2	(28.5)	人件費関係費 用(再掲)	3,670	3,655	

民間(NPO含む)との競合状況

献眼斡旋事業は、厚生労働大臣事業であり、県内では当協会のみがこの事業を行っている。

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針	事業推進に対して積極的に支援
--------	----------------

改革基本方針		実施状況	
実施年月		実施年月	
H16/4	協会職員の人件費の補助金化	H16/4	職員2名の人件費相当の補助金化
H16/4	事業運営のあり方検討	H16/4	自主財源の確保(募金箱)
H17/4	普及啓発事業への人的支援	H19/4	非常勤職員1名の減
		H21/4	角膜斡旋手数料の引き上げ
		H24/4	角膜斡旋手数料の引き上げ

経営計画等の策定状況

・脆弱な組織体制、財政運営を余儀なくされているが、理事会、評議員会において今後の経営の健全化について検討を図っている。・角膜あっせん手数料の引き上げ実施。募金箱の設置による財源確保。ライオンズクラブへの寄付要請。献眼登録者・献眼者の増にむけて施策の実施。

情報公開の取組状況

当協会のホームページを更新し、業務内容や事業成果、決算状況等の財務内容を掲載し情報公開に努めている。・個人情報管理に留意している。

公益法人改革への取組状況

平成22年度4月1日新公益財団法人としてスタートした。

監査等結果

平成21年9月14日県総務部情報公開・私学課の特例民法法人の実地検査があり、「新公益法人会計基準の導入すること」の指摘を受け、平成21年12月から新公益法人会計ソフトを導入して、適正かつ迅速な会計処理を行っている。決算にあたり監事2名の監査を受けている。なお、平成22年度からは、監事1名を税理士資格のある者とし、新公益財団法人移行に伴い経理事務の適正化に向けた監視体制を強化、整備した。

団体の課題等

[団体記載欄]

○ 昨今の経済金融情勢から基本財産運用益が期待できないこと。また、賛助会員のも会費も減少し経営が厳しい。
○ 献眼登録者、献眼者が減少傾向の中、平成24年度は、献眼者が15人、移植者も32人となった。

[県記載欄]

○ 献眼登録者、献眼者は、横ばい・減少傾向にあり、引続き普及啓発の推進が必要である。
○ 県内で唯一の眼球あっせん許可団体として、眼球(角膜)移植のコーディネート業務を行っており、社会的重要性及び公共性が高く、また、県として移植医療に関する普及啓発及び知識の普及に必要な施策を講ずる責務から連携協力を行っていくほか、改革基本方針のとおり、積極的支援を行う必要がある。
○ 効率的予算執行に努めるとともに、歳入確保の工夫・努力が必要である。

【財務の状況】(公益法人用)

団体名:(公財)長野県アイバンク・臓器移植推進協会

① 正味財産増減計算書

(単位:千円)

		平成22 年度	平成23 年度	平成24年度
一般正味財産増減の部	経常増減の部			
	経常収益 (A)	13,826	12,920	14,660
	うち基本財産運用益	4,776	3,628	3,926
	うち受取会費	340	302	415
	うち事業収益	2,500	3,400	4,800
	うち受取補助金等	3,686	3,686	3,700
	うち受取国庫補助金			
	うち受取県補助金	3,648	3,655	3,670
	うち受取市町村補助金			
	経常費用 (B)	12,725	13,958	13,803
	うち事業費	8,635	9,793	9,341
	うち公益事業費	8,635	9,793	9,341
	うち給料手当	4,564	4,689	4,700
	うち管理費	4,090	4,165	4,462
	うち役員報酬	1,320	1,320	1,320
うち給料手当	1,006	1,125	1,123	
経常増減(損益)額 (C)=(A)-(B)	1,101	△ 1,038	857	
経常外増減の部				
経常外収益 (D)				
経常外費用 (E)				
経常外増減額 (F)=(D)-(E)	0	0	0	
一般正味財産増減(当期損益)額 (G)=(C)+(F)	1,101	△ 1,038	857	
一般正味財産期首残高 (H)	8,377	9,478	8,440	
一般正味財産期末残高 (I)=(G)+(H)	9,478	8,440	9,296	
指定正味財産	受取補助金等			
	うち受取国庫補助金			
	うち受取地方公共団体補助金			
	当期指定正味財産増減額 (J)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (K)	0	0	0	
指定正味財産期末残高 (L)=(J)+(K)	0	0	0	
当期正味財産増減額 (M)=(G)+(J)	1,101	△ 1,038	857	
正味財産期首残高 (N)	8,377	9,478	8,440	
正味財産期末残高 (O)=(M)+(N)	9,478	8,440	9,296	

② 貸借対照表

		平成 22年度	平成 23度	平成24年度
資産	流動資産	9,963	9,049	10,194
	うち現金預金	9,863	9,049	10,044
	固定資産	276,712	276,712	276,712
	基本財産	260,000	260,000	260,000
	うち土地			
	うち投資有価証券	159,920	259,860	259,860
	特定財産	16,541	16,541	16,541
	うち退職給与引当資産			
	うち減価償却引当資産	1,541	1,541	1,541
	その他の固定資産	171	171	171
資産合計	286,675	285,761	286,906	
負債	流動負債	401	609	897
	うち短期借入金			
	うち未払金	401	609	897
	固定負債			
	うち長期借入金			
うち退職給与引当金				
負債合計	401	609	897	
正味財産	指定正味財産			
	うち基本財産への充当額			
	うち特定資産への充当額			
	一般正味財産	286,190	285,152	286,009
	うち基本財産への充当額	260,000	260,000	260,000
うち特定資産への充当額				
正味財産合計	286,190	285,152	286,009	
負債及び正味財産合計	286,675	285,761	286,906	